

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	口腔内の清潔保持 利用者2名が本人の力に応じた口腔ケアが出来ない	・口臭予防・歯周病予防	・口臭予防液での毎食後のうがいの実施。	6ヶ月
2	44	便秘予防と対応 薬に頼らないと自然排便が出来ない。	・薬に頼らず自然排便ができるように考慮する。	・排泄パターンの把握。 ・水分や運動を多くするように心がける。繊維質のある食べ物、果物を多く摂取するようにする。	6ヶ月
3	47	飲み忘れや誤薬への対応は行っているが、薬に対して認識不足である。	・利用者に処方されている薬を把握する。	・処方になった薬の一つ一つを確認することで、利用者一人一人がどのような薬を服用し、薬の目的・副作用について把握することができる。	6ヶ月
4	34	急変や事故発生の備え 職員全員が落ち着いて行動できるか不安である。	・学習会を中心に看護師等から学び自信につなげる。	・定期的な学習会などで急変時の対応、介護士でも使用できる医療器具について学ぶ。	6ヶ月
5	25	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方や心身状態の把握が不十分	・病気の早期発見、認知症の進行状況の把握をする。	・日ごろの観察や個別ケアで接していく中での変化を見つけ、すぐにスタッフ全員で連絡や対応が出来るようにする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	掃除には参加できない利用者がいる。	・利用者の出来ることを見極めて一緒に行っていく。	・意欲が出るような声かけをし、利用者の方の参加を促す。 ・一人ひとり出来ることの把握を行う。 ・その都度感謝の気持ちを伝える。	6ヶ月
2	27	家族の生活に対する意向や現在の様子の記入が徹底されていない。	・記録の抜けが無いように職員の意識の向上を図る。	・利用者の様子に変化が見られた際、随時記録するように徹底する。 ・家族から何か情報を得た時の記録もきちんと記入する。	6ヶ月
3	38	利用者から要望があっても、要望によって応じることの出来ないものもある。	・利用者より満足感を得て頂くように考慮する。	・利用者の要望を聞き、出来る限り応えられるよう職員間で実行できるように話し合いを持つ。また、家族の協力も得るように努める。	6ヶ月
4	40	食事作りには参加しているが、残存機能を引き出せていない利用者がいる。	・残存機能を活かした、食事の準備・食事・後片付けを本人が出来るように支援する。	・一人ひとりの能力の見極めを行う。 ・安全への考慮。出来る限り利用者本人に行き届き職員は見守りを行う。	6ヶ月
5	48	日々の生活の中で、内容を理解しないと参加しない方がいる。	・メリハリのある生活が送れるように支援する。	・一人ひとりの個性を活かしながら、様々なレクリエーションを提供する。 ・難聴の方にはわかりやすく、ゆっくりと説明する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束しないケアの実践 利用者の状況、職員が手薄な時間帯を考慮し、 施錠する時もある。	・施錠する時間を短縮する。	・利用者の見守りを徹底する。 ・利用者の状態の把握を職員全員が行う。 ・職員間の報告・連絡・相談を常に行う。	6ヶ月
2	10	運営に対する利用者、家族等意見の反映 ある利用者及び家族より職員の対応について不 満がでた。	・利用者及び職員が気軽に話せる(相談できる) 雰囲気を作る。	・利用者との個別の関わり、会話を行う。また、家 族へのこまめな報告・連絡・相談を行い悩み等に 気づけるように努める。	6ヶ月
3	19	本人を共に支え合う家族との関係 本人と家族の折り合いが悪く、本人を支えていく 関係に至っていないケースあり。	・職員が間に入り、お互いの関係がよくなるように サポートする。	・家族の大変さを共感すると共に、本人の良さにも 気づき、支援して頂けるように話し合いを重ね ていく。	6ヶ月
4	27	個別の記録と実践への反映 個別記録の中で認知症状や変化や介護計画の 実践についての記録が少ない。	・毎日の個別記録については認知状態が把握で きるように記入する。	・個別記録は認知症状や介護計画の実践につい て記入するように職員全体で意識する。	6ヶ月
5	35	災害対策 年3回避難訓練を行っているが、いざという時不 安がある。	・職員全員が災害マニュアルの把握に努める。	・ミーティング時に災害についての話し合いをす る。 ・災害マニュアルを職員が把握しているかを定期 的に確認する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者の離脱防止のため、玄関に鍵をかけることが習慣になっている。チャイムが鳴っても確認しない習慣がついている。	・9時～16時までは、なるべく施錠せずに対応する。	・職員全員が利用者の行動に注意し、施錠しないように心がける。 ・チャイムの音を意識し、確認しない職員には、注意しあうようにする。	6ヶ月
2	23	本人の思いは把握するように心がけているが、一人ひとりと向き合った会話は持っていない。	・本人の思いや意向を把握し、それに沿ったケアを行う。	・本人の話しをよく聞き、記録に残す習慣をつける。 ・気持ちシートを用いて、利用者の理解に努める。	6ヶ月
3	26	家族の意見はあまり取り入れられていない。本人の意見も、もっと取り入れる必要がある。	・本人と家族の意見が反映された介護計画の作成をする。	・定期的に話し合いを行っていく。 ・家族へまめに連絡をとり、意見を伺う機会を多く取り入れる。	6ヶ月
4	47	服薬内容の変更は、職員全員が把握できるようにしているが、薬の目的や副作用については、理解できていない。	・利用者一人ひとりの薬の内容について職員全員が理解する。	・利用者が現在服用している薬を、改めて確認する。 ・受診時に、薬に変更がないか、確認し、あれば必ず行う。	6ヶ月
5	52	掲示物が古いものや、はがれてしまっているものがある。目のつくところに物が置きっ放しになっており、整理されていない。	・利用者も職員も、共に居心地のよい、使いやすい空間作りをする。	・掲示物を見直し、写真などを新しいものに貼りかえる。 ・棚の上の整理・整頓する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	鍵をかけている時間がある。	・鍵をかける時間を減らし、常に危険を想定して事故防止に努める。	・利用者の状態やスタッフの人数を考慮して鍵をかける時間を減らす。 ・鍵をかける時は入り口に施錠中を貼る。 ・スタッフの出入りを少なくする。	6ヶ月
2	10	家族とより以上の信頼関係をつくる。	・家族が気軽に相談できる環境をつくる。	・家族と連絡を密に取り、日ごろの様子や病状等を報告する。 ・月1回のおたよりにスタッフからの報告も記入する。 ・ケアプランに家族の意見も取り入れる。	6ヶ月
3	2	地域との交流が少ない。	・地域の行事等に参加し交流の機会を多く持ち、グループホームの理解に努める。	・地域の資源回収等のボランティア活動に、小学校の行事の参加。 ・グループホームにも気軽に来てもらえるような行事を考える。	6ヶ月
4	35	災害時の対応に不安がある。	・いざという時の防災の意識を職員一人ひとりが高める。	・防災頭巾をつくる。 ・ミーティングで災害時の対応について、防災マニュアルを職員が把握するようにする。	6ヶ月
5	37	自己決定に対しての意見が出にくい。	・本人が思いや意見が出しやすい環境を作る。	・個別に話を聞き、一人ひとりの思いを知る。 ・本人の思いを家族にも伝え協力を得る。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	一人ひとりのペースを大切にし、希望に沿った支援が出来ていない。	・個々に合わせたケアを大切にし、希望に沿えるように取り組む。	・ケアプランの気持ちシートを活用し、その人にあったケアを見つけ、実践する。	6ヶ月
2	37	利用者の希望、思いを聞き入れるよう努めているが、意思疎通が困難な利用者もいる。	・利用者一人ひとりの思いや希望の把握に努める。	・生活暦を活用し、本人からも趣味や興味を聞いて、意思疎通が出来るようにする。 ・家族からも昔のことなどを聞く機会を設け、活用する。	6ヶ月
3	48	出来る利用者と出来ない使用者の差がある為、片寄ってしまうところもある。	・均等に役割を持てるように働きかける。	・ケアプランの気持ちシートの活用。 ・状態に合わせた役割りの提供し、楽しみややりがいを持っていただけるように取り組む。	6ヶ月
4	25	状態の把握に努めているが認知症レベルの低下が著しく、把握しきれない部分もある。	・利用者一人ひとりの状態の把握の徹底 ・職員間の報告・連絡・相談の徹底	・利用者の状況を把握し、変化が見られたら、介護記録の記入や報告を、相談を徹底し改善策を考える。	6ヶ月
5	6	帰宅願望が強く、徘徊が多く見受けられる。常にリスクが予測される。	・常にリスクが伴うと予測し、意識しながら業務する。	・利用者の行動を把握する。 ・見守りの徹底を行いつつ、気分転換に努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。